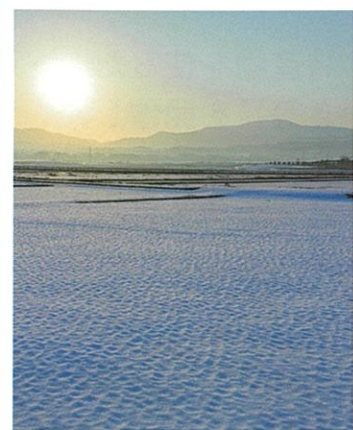


広瀬地域の四季



地域ビジョン策定委員会
2024年3月発行



広瀬地区 地域ビジョン

地域ビジョン策定委員会事務局
広瀬地区自治振興会

Instagram
やっています



フォローお願いします!

ようこそ 羽黒の玄関へ

羽黒町を訪れる多くの人々が羽黒街道を利用することから、入口にある広瀬地区は“羽黒の玄関”のような存在というイメージを多くの住民がもっています。今まで私たちが見てきた景色や体験してきた行事など当たり前にあったものを大切にしながらも、変化し続ける時代の中で、広瀬地区に住むさまざまな立場の住民の声に耳を傾け、地域づくりに活かしていくことで、その魅力を次の時代につなげていきたいと思えます。

地域ビジョンの 目的

広瀬地域は鶴岡の市街地に近接し、自然豊かなまちです。近年は、少子高齢化や過疎化などの社会問題や自然災害への備えの重要性を身近に感じるようになってきました。また、住民の生活環境や価値観が多様化してきたことで、自治振興会の事業や集落行事への考え方も変化しています。これからも安心して生活できる広瀬地区であるために、住民みんなで地域づくりを行う必要があります。

地域ビジョンの 役割

話し合いの中で、地元への思いや10年先も自分らしく生きるには何が必要かを探り、その課題を明確にします。そして解決に向けたアイデアを出し合います。ビジョンの完成が目的ではなく、計画を実行し、評価と改善を行うことで、広瀬地区をよりよくしていく仕組みへつなげていきます。

地域ビジョンの 取組

各年代で「住みたいところがどんなところか」について話し合ったほか、集落区長は「広瀬地区の自慢できるところ」について、振興会（防災部・総務地域部・生涯学習体育部）は、部会ごとに「今後必要なこと」について話し合いました。延べ70人近くの住民が、10年後に向けた話し合いに参加しました。

4つの将来像と実現に向けた基本計画

前期行動計画

後期行動計画

1 歴史と自然と人の和が広がるまち

広瀬地区には松ヶ岡開墾場のように歴史を感じられるところがたくさんあり、豊かな自然があります。そうした歴史と自然は広瀬地区の大きな財産です。身近にある自然と歴史に新たな魅力を発見し共生を大切に、温かな人とのつながりと暮らしを実現していきます。

- 各集落の行事を把握して地区内に知らせ、集落間の交流、人と人との交流を促進する。
- 広報誌やSNSを通じて広瀬の歴史や話題に触れ、その魅力を知ってもらう。

- 前期の事業を継続するとともに下記事業を行います
- 集落自慢マップを作成し、地区の魅力を共有して交流を深める。
- 移住希望者向けに空き家情報をはじめ各種情報をSNSで発信し、地域を知ってもらう。

2 地域の良さを発信しみんなのやりたいを応援するまち

活動センターを拠点に地域の情報発信につとめ、わかりやすく親しみやすい地区にしていきます。みんなの挑戦を応援し、住民同士の交流の活発化を目指します。活動センターをみんなの居場所、頼れる存在にしながら、“よりどころ”としての機能を高めていきます。

- 子どもや若者向けに地元の特産物を使ったイベント（料理教室や餅つき等）を開催し、食を通して地域を知ってもらう。
- 活動センターを拠点に、地区の情報を集約し、発信する体制づくりをすすめる。

- 親子連れの子どもの遊ぶ場所や小中高生が気軽に立ち寄れるフリースペースを設置し、活用してもらう。
- 活動センターを利用したコミュニティビジネスを研究・応援する。

3 みんなで声かけ助け合い安心安全をつくるまち

防災・防犯の主役は住民同士のつながりです。身近なイメージをふくらませ、実際の訓練を重ねることで、効果的な防災防犯になります。従来の自治防災組織の活動を点検し避難所となる施設を整備するとともに、住民への周知をすすめることで、安全確保につなげていきます。

- キャンプや防災に関するクイズなど実践的で身近に学べる訓練を実施し、子どもから高齢者まで全地区民の防災意識を高める。
- 避難所の設備と防災資機材の充実を図る。
- 防犯に関する啓発活動を行う。

- 全集落が実効ある自主防災組織を整え、災害時に活動できるようにする。
- 災害に備えたスマホの活用（災害情報や交通情報）を強化する。
- 避難所の設備について住民が理解を深め、安心して避難できるように周知する。

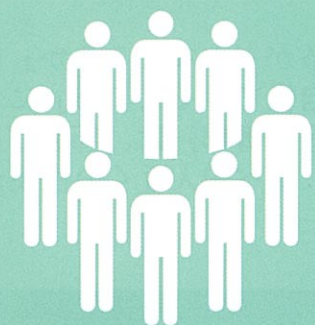
4 “住んでみたい” “住んでよかった” がここにあるまち

上記の3つの将来像を基本として、さまざまな立場や価値観を尊重しつつ、住民同士が幸せに暮らしていくために同じ視点に立てる指標が必要だと考えました。“住んでみたいか”や“住んでよかったか”という問いです。そのことを問いながら、今後新しいことに挑戦していきます！

- 若者、子育て世代をはじめ、みんなが参加し交流できるイベントを開催する。合わせて多様な意見を聞く機会とする。
- 企業とのコラボを図り、地区の魅力づくりに努める。

- 自然の恵みを活かした収穫体験を開催し、地区外の人にも広瀬の良さを知ってもらう。
- 地元大学生向けに農作業アルバイト情報を提供し、農家と若者の交流を図る。
- 景観を活かしたウォーキングマップを作成し、住民の健康生活を応援する。

広瀬地域
について
(2024年1月現在)



人口は
2,731人



70歳以上が約 **26.1%**

15歳未満が約 **11.5%**



22 の集落があります。

このビジョンは5年毎に見直しを行います